

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 網膜機能障害をきたす疾患の臨床像の検討

研究の目的

多くの網膜機能障害をきたす疾患の病態はまだ未解明な部分が多く、特に遺伝性網膜疾患ではその病態解明が待たれております。また糖尿病網膜症は、青森県では中途失明原因の2位で、他地域よりも人口当たりの失明患者が多く、失明を防ぐための治療法の確立が急がれます。本研究は、網膜障害をきたす様々な病気について臨床所見を解析し、病気の原因の解明や、より良い治療法を確立することを目的としております。今までに眼科外来や入院中にえられた検査やカルテの情報を使用します。病気に特異的な所見を発見したり、病気の重症度に影響する所見、治療に影響する因子を検討します。

対象疾患は網膜色素変性、黄斑ジストロフィなどの遺伝性疾患、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜静脈分閉塞などの網膜血管障害、網膜炎や全身疾患に伴う網膜疾患です。また、正常データとして、白内障などで網膜検査を受けた方の情報も含めます。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2029年3月31日

対象となる方： 2014年3月1日から2024年5月31日の間に網膜色素変性症、黄斑ジストロフィなどの遺伝性網膜疾患、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、網膜動脈閉塞症、網膜静脈分枝閉塞症、網膜動脈分枝閉塞症、ぶどう膜炎、夜盲症、ヒドロキシクロロキン網膜症、自己免疫網膜症、網膜炎等の後天性網膜疾患、緑内障、白内障にて弘前大学医学部附属病院眼科を受診した方。年齢、性別は問いません。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

今までに記録された診療情報をもとに行い、新たな追加検査は必要としません。具体的には、診療録に記載されている眼底写真、網膜断層写真、補償光学眼底カメラ、光干渉断層計(OCT)アンギオグラフィ、網膜電図、黄斑局所網膜電図、視力、視野、色覚の検査結果及びカルテに記載された病歴から調査します。これらの情報をもとに網膜の機能と形態の関係を評価します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 眼科学講座 教授 上野 真治 弘前大学眼科学講座（講座事務） 〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 電話番号：0172-39-5095 E-mail：retina@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--